

「自由」について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年4月10日）

この変容する時代に合わせ、京都大学も少しずつ変容してきていると、そう感じています。しかし、相変わらず、私たち学生も、教員も、京都大学を「知と自由の学府」とであると自負していることに変わりはないのではないかと考えています。そこで、今一度、教員の皆様の考える、「自由」とは何かを、お聞きしたく思います。具体的に言えば、中長期的に見て、京都大学がどのような大学となっていくことを念頭に置いた運営を行っているのか、行っ

ていこうとしているのかについてお聞かせいただけると幸いです。

【回答】（回答日：2020年5月12日）

（学生担当理事・副学長川添信介）

「自由とは何か」という問は人間にとって極めて根源的な問であり、人類の歴史の推移の中で、また地理的な広がりの中でも、様々な解答が様々な視点から提出されてきました。ですから、この問に簡単にただ一つの答えを与えることはできません。

ただ、現在の京都大学という学問研究と教育の場における「自由」に限定するならば、山極総長が2015年6月に発表された、以下の「京都大学の改革と将来構想」(WINDOW構想)に、その答えの一端を見ることができます。

WINDOW 構想

大学を世界や社会へ通じる窓と見立て、京都大学が掲げた新たな構想。大学の中と外の風通しをよくし、対話にもとづく自由の学風のなかで、世界で活躍のできる野生的で賢い学生を育て、送り出すことを京都大学共通の目標とするもの。

Wild and Wise

未知の世界に挑戦できる実践の場として、学生に多様な教育・研究環境を提供し、野生的で賢い学生を育成します。

International and Innovative

海外の大学や研究機関、産業界などの多様な交流を通じて、世界の人びとと自由に対話しながら、国際性を持ち、創造的な研究を推進し、イノベーションの創出を図ります。

Natural and Noble

高い水準の文化と歴史、自然に包まれた京都の環境をいかし、広く深く学び、高潔な態度を身に付けられるよう、魅力あるカリキュラムや快適な学びの環境をつくります。

Diverse and Dynamic

多様な価値観や文化が交錯する時代に、多様な人の考え方を理解する力と自分の存在をきちんと見つめ、悠久の歴史の中に自分を正しく位置づけて堂々と振る舞う力を涵養します。また、自由に学べる、静謐な学問の場を提供します。

Original and Optimistic

独創性を獲得しつつ対話を重ね、失敗や批判を恐れず、自分とは異なる考えを取り入れ、成功に導く力を養います。

Women and the World

女性が働きやすく、勉学に打ち込める環境を整備します。また、学生が希望をもって社会に羽ばたくための支援を行います。

この中には「自由」という言葉が直接に使われていますし、自由と関係の深い多くの表現が見いだされます。この WINDOW 構想を参考にして、学生諸君みずから「自由とは何か」を考えることを期待しています。

この WINDOW 構想を掲げられた山極壽一総長のインタビューや詳細につきましては、以下のサイトをご覧ください。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/kurenai/201603/zadankai/>

<http://www.kyoto-u.ac.jp/window/>